



地域とともに歩む訓高

シリーズNo. 1

校訓・清流拓心＝「清流」には訓子府の町を脈々と流れる常呂川のように、多くの触れ合いの中で、清く強く、心の正しい人になること、「拓心」には恵まれた自然の中に、自らの心を耕し、各自の道を切り開き、はばたいていく願いが込められています

訓子府高校は昭和 23 年北斗高校の分校として開設以来、学科転換や町立から道立への移管、2 間口から 1 間口へ募集生徒の削減など多くの変遷をたどっています。今年の入学者数は、定員を大きく下回りました。少子化社会が進行する中、転換期を迎えている訓高の現状と今後をシリーズで紹介いたします。

新たな転換期迎え

■ 訓子府高校の歴史 ■

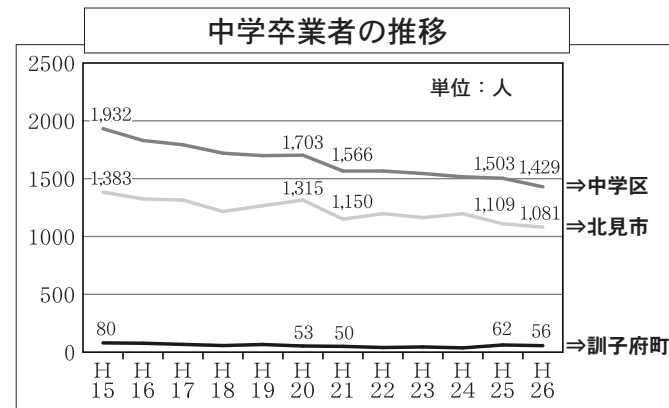
訓高は、昭和 23 年道立北見北斗高校の訓子府分校として、定時制（夜間）普通科 1 間口で開校、昭和 39 年に昼間定時制普通科を併設し、地域における勤労青年のための後期中等教育の場として貢献してきました。

■ 道立への移管 ■

昭和 49 年に、高等教育の振興に寄与すべく、町立の全日制普通科（2 間口）に学科転換後、道立高校への移管をめざし、関係機関が一丸となって道への要請活動を進めた結果、道立移管を希望する他校に先駆けて昭和 51 年 4 月道立に移管されました。

■ 平成の幕開け「少子化」の進行 ■

訓中在籍者数が平成元年 405 人をピークに減少し始め、平成 16 年以降は 100 人台で推移、訓中卒業生数も下表のように 50～60 人で推移しています。こうした現状を打破し、地域全体で訓子府高校を支えるため、町は、各機関や町民各層で構成する「北海道訓子府高等学校教育振興会議」を平成 11 年 10 月に設立し、魅力ある高校づくりに



より魅力ある学校へ

向けて各機関連携の支援を進めています。

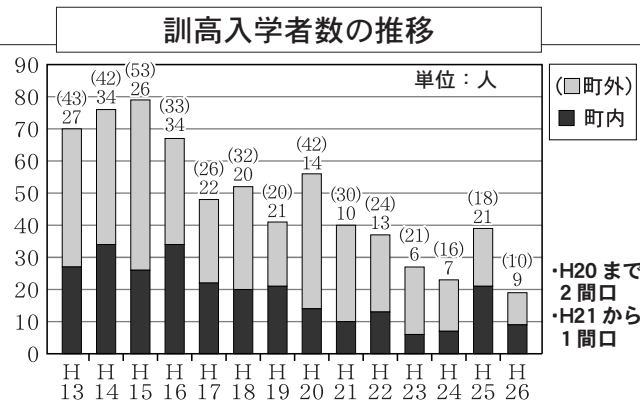
■ 高校存続への各種支援活動 ■

平成 17 年度の入学者数が 48 人と前年を約 20 人下回る状況となり、また、訓中卒業生が今後 40～50 人台で推移することから、振興会議では「2 間口維持対策」として、平成 18 年度から入学準備金 5 万円支給、通学支援（バス定期購入費自己負担の 2 分の 1 補助）、各種検定受験費用補助などを実施しています。

しかし、平成 21 年度に入学者が 40 人となり、その年から 1 間口、以降は「訓子府高校存続対策」として支援を継続しています。

■ 魅力ある学校づくり ■

高校を取り巻く環境として、少子化による中学校卒業生数の大幅な減少や高校進学率がほぼ 100% になるなど、学習ニーズが多様化しています。このような環境の中で訓高自体もあいさつ日本一をめざした取り組みなど、社会規範の高い生徒の育成や毎年のように進路、就職が 100% に達成するなど、特色ある学校づくりに努めています。



訓子府町は平成 28 年度に

「開基 120 年」を迎えます

記念の節目に向け取り組みを開始

明治 30 年 5 月 8 日に、高知県の北光社移民団が、オロムシ地区（現大谷）に入植したことを、訓子府町の始まりとしています。

大正 9 年に置戸村から分村、昭和 26 年に町制施行、平成 8 年には 1 世紀、開基 100 年を迎えました。そして平成 28 年は、「開基 120 年」で町制施行 65 周年となります。「120 歳の誕生日」を、町を挙げて祝おうと、町では、町民の皆さんと記念事業を検討していくこととしています。

また、町民の皆さんから記念テーマを募集するなど、町は、2 年後の「開基 120 年」に向けて準備を始めます。

記念テーマを募集します

■ 応募資格

- 町内に在住・在勤・在学されている方
- 町内で活動している団体に属している方
- 訓子府町にゆかりのある方

■ 募集期間 10 月 31 日（金）まで
（郵送の場合は最終日必着）

■ 応募内容 「訓子府町開基 120 年」を印象付ける趣旨を盛り込んだ記念テーマ

■ 記念テーマの条件

- 「訓子府町の将来の発展を願う」もの
- 「訓子府町」「120 年」といった文字を使用するなど開基 120 年を印象付けるもの
- 自作の未発表作品
- 応募者に著作権が属しているもの（応募作品の著作権は訓子府町に帰属します）
- 25 文字以内で端的に表現するもの

■ 応募点数 制限なし（ただし、テーマは応募用紙 1 点につき 3 作品までの記入とします）

■ 賞品

- 最優秀賞 1 万円相当の記念品
- 優秀賞 5,000 円相当の記念品

■ その他

- ・ 記念テーマには、200 字以内の説明を入れてください
- ・ 応募いただいた結果などにつきましては、広報などでお知らせします

■ 応募方法 応募用紙（今月号広報に折り込んでいます。また、役場総務課窓口にも備えてあります）に必要事項（※）を記載の上、訓子府町役場総務課にご持参いただくか、ファックス（FAX 0157-47-2600）または、Eメール

soumu@town.kunneppu.hokkaido.jp
でご応募ください。

※ 記入する事項＝住所・氏名・年齢・性別・職業（学生の場合は学年）と連絡先（電話番号・ファックス番号。Eメールアドレスは任意）

■ 申込み問合せ

〒099-1498 常呂郡訓子府町東町 398 訓子府町役場総務課庶務係 ☎0157-47-2112